

## 各館開催講座のご案内

※日時や会場、内容等が変更になる場合がございます。  
最新情報は各館HPやお電話にてご確認ください。

新潟県立、新潟市立の美術館4館の学芸員が講師を務める講座一覧です。  
「美術に関する知識を深めたい」「作品や作家のことをよく知りたい！」  
と思ったら、お気軽にご参加ください。

### 新潟県立近代美術館

TEL 0258-28-4111  
長岡市千秋3丁目278-14  
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

### 新潟県立万代島美術館

TEL 025-290-6655  
新潟市中央区万代島5-1  
朱鷺メッセ内 万代島ビル5階  
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

### 新潟市美術館

TEL 025-223-1622  
新潟市中央区西大畑町5191-9  
<http://www.ncam.jp/>

### 新潟市新津美術館

TEL 0250-25-1300  
新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1  
<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

開催日時	講座名／講師	講座内容	会場、申込、定員など
11月16日(土)	<b>オルソン・ハウスと アンドリュー・ワイエス</b>	アンドリュー・ワイエス(1917-2009)が30年にわたって描き続けたオルソン・ハウスと、そこに暮らしたクリスティーナとアルヴァロの姉弟。ワイエスに見られるまでのオルソン・ハウスの歴史と、ワイエスがなぜオルソン・ハウスに惹きつけられたのかを探ります。	新潟市美術館 2階講堂
11月30日(土)	<b>大光コレクションの 岸田劉生</b>	没後90年を迎える岸田劉生。《冬枯れの道路(原宿附近写生)》は、大光コレクション旧蔵の一点です。大光コレクションにいま改めて注目しながら、当館の名品の魅力を紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
12月7日(土)	<b>ナビ派に親しむ</b>	19世紀末、パリで結成された前衛芸術家グループ「ナビ派」。ドニ、ボナール、ランソンなどの画家たちは、絵画、版画、ポスター、室内装飾など多彩な分野に活躍の場を見出しました。個性溢れる作家たちの魅力を紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
12月8日(日)	<b>棟方志功への旅【新潟】</b> →中止になりました	1931(昭和6)年、「国境の長いトンネル」清水トンネルが貫通し、土越線が全通したこの年、無名時代の棟方志功(1903-1975)は新潟出身の支援者の帰省に同行して本県を訪れています。棟方志功と一緒に旅する気分が当時の西蒲原郡味方村や南蒲原郡加茂町、中蒲原郡亀田町など、ゆかりの土地を訪ねてみたいと思います。	新潟市新津美術館 1階市民ギャラリー
12月21日(土)	<b>ぼてっとかわいい！？ フェルナンド・ポテロの 魅力</b>	コレクション展Ⅲでは、当館所蔵のコレクションを「かわいい」というテーマで展示します。これに関連して、ぼっちゃりとしたかわいい絵画・彫刻で知られるフェルナンド・ポテロ(1932-)の作品を紹介します。ポテロ作品からデフォルメの面白みや、まあるい形の魅力を探ってみましょう。	新潟市美術館 2階講堂
1月11日(土)	<b>アメリカン・リアリズム 20世紀を中心に</b>	アンドリュー・ワイエスは「リアリズム」の画家なのでしょうか？アメリカ美術には「アメリカン・リアリズム」と呼ばれる流れがありますが、画家によって少しずつ解釈が違ってくるようです。絵画における「リアル」や「写実」について考えます。	新潟市美術館 2階講堂

	開催日時	講座名／講師	講座内容	会場、申込、定員など
近代美	1月18日(土)	<b>彫刻台座 奥深き世界</b>	彫刻作品を安置するための「台座」。時には建築家が制作に関わることもあり、豪華壮麗な台座や意匠が生み出されました。日本の近代彫刻を彩った、様々な台座に注目して紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	伊澤 朋美 (新潟県立近代美術館 学芸員)		無料/申込不要/165名
新津美	1月26日(日)	<b>明治時代のイコン画家 山下りん</b>	日本人女性初のイコン画家・山下りん(1857-1939)。現在、日本の正教会では山下りんのイコンが祈りの対象とされています。明治時代から引き継がれてきた山下のイコンを取り上げ、彼女の生涯からイコンに対する考え方をご説明したいと思います。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	13:30～15:00	栞原 美穂 (新潟市新津美術館 学芸員)		無料/申込不要/60名
近代美	2月1日(土)	<b>1964年－現代美術の背景</b>	1964年の現代美術を取り上げ、かつその美術を生み出した1960年代とその社会的背景について併せて紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	藤田 裕彦 (新潟県立近代美術館 学芸員)		無料/申込不要/165名
近代美	2月15日(土)	<b>長岡現代美術館賞と 同時代美術</b>	1964年に国内初の「現代美術館」として開館した長岡現代美術館。開館から1968年まで毎年開催された「長岡現代美術館賞展」では、公開審査という画期的な方法で賞が決定されました。1960年代の日本の美術動向の中で、同展の果たした役割を振り返ります。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	濱田 真由美 (新潟県立近代美術館 学芸員)		無料/申込不要/165名
新潟市美	2月15日(土)	<b>草間彌生とニューヨーク</b>	無限増殖する網目に覆われた絵画。家具や靴などの既製品に無数の突起物を貼りつけたソフト・スカルプチュア。自ら水玉模様を身にまとった「ハプニング」……。現在知られる「クサマ・ワールド」とは一味違う(?)、1958-73年ニューヨーク滞在期の活動を同時代の美術動向と共に紹介します。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	上池 仁子 (新潟市美術館 学芸員)		無料/申込不要/100名
新津美	2月16日(日)	<b>西洋美術の「肖像」</b>	レオナルド・ダ・ヴィンチの《モナ・リザ》、ムンクの《叫び》……西洋美術には鑑賞者の記憶に残る「肖像」がたくさんあります。18世紀フランスの芸術アカデミーで区分された「肖像画」の枠にとどまらずに、キリスト像や画家の自画像なども取り上げながら、西洋美術の「肖像」について考えてみませんか。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	13:30～15:00	斎藤 未希 (新潟市新津美術館 学芸員)		無料/申込不要/60名
新潟市美	3月14日(土)	<b>和紙のはなし</b>	UNESCOの無形文化遺産にも登録されている和紙。素材として優れた和紙は、書画は勿論、建造物や他の美術工芸品の制作や修復において欠かせません。特有の風合いは数々の造形に生かされ、それ自体が愛でられ、鑑賞されてきた歴史もあります。描かれた絵……ではなく、それを支える紙が本講座のメインディッシュです。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	星野 立子 (新潟市美術館 学芸員)		無料/申込不要/100名